

大阪国際がんセンターにおける S-1 の服薬指導概要

2021年5月 改訂

1 用法用量を説明する<下記の情報は大鵬薬品工業 DI より入手した>

- ・空腹での服用は避けるよう指導する（空腹時服用で70%程度に血中濃度が低下する可能性あり）。
- ・飲み忘れはできるだけしないようにする。服用間隔は10時間以上あける必要があり、それより短くなるようであれば服用しないこと、および2回分をまとめて服用しないことを指導する。

2 作用の初期症状と対処法を指導する。

下記の副作用以外にも明らかにいつもと調子が異なると感じられたならば、
すぐに当センター（代表：06-6945-1181）に連絡する旨を指導する。
（夜間祝日であっても当直医が適切な指示を出すため）

骨髄抑制…感染症対策（手洗い・うがい）。38°C以上の発熱があれば病院に連絡する。

悪心…服用開始1週間ほど生じる場合があり、頓用の制吐剤があれば6時間毎に服用することを説明する。悪心が生じた場合には、栄養価のことは考えずに食べられるものを選択し、1日5,6回に分けて少量ずつ食事摂取する。

口内炎…服用開始1週間後ごろ生じる場合がある。予防が可能な副作用であり、毛先の細かい柔らかい歯ブラシで力を入れずに1日3回歯磨きをする。ハチアズレなどの含嗽薬があれば1日5回程度、なければ水道水で頻回にうがいをする事が有効な予防法である。

下痢…服用開始2週間ごろ生じる場合がある。下痢が生じはじめた場合には、刺激物などの摂取は控え、脱水予防のため水分を多めに服用する旨を説明する。下痢が普段の排便回数より1日4回以上増加した場合や血便、強い腹痛などを伴う場合にはすぐに病院に連絡する。

皮膚着色…服用開始2週間以降に生じる場合がある。長時間の日光を浴びることを避ける。服用中止後、元の状態に改善する。

間質性肺炎…発症時期は不明。ほとんど生じないが、初期症状（空咳、息切れなど）が感じられた場合には、すぐに病院に連絡する。

眼のかすみ、流涙…眼内の5-FUを洗い流す目的で以下の点眼液を調剤薬局やドラッグストアでご購入の上、予防的使用を推奨する。

防腐剤を含まない人工涙液（医療用医薬品はなし） → 1回2-3滴1日6回以上
涙があふれることが多くなったり、目のかすみ、視力低下を感じた場合は、次回診察時に主治医に報告することを説明し、眼科医の受診を薦める。

③ S-1 ダイアリーを毎日記載し、主治医の診察時に提示することを説明する。

- ・体温測定は毎日1回決まった時間に行う。
- ・服用期間だけでなく休薬期間も記載を続ける。